

## ●特別資料貸出等

郷土・資料調査室が所蔵する貴重な資料は、出版や映像における地域のPR素材として、または学術研究のために、複製物の特別貸出や特別撮影をおこなっています。ご希望の方は、台東区立図書館ホームページで申請の詳細をご確認ください。許可にあたりましては、利用目的や企画内容を総合的に判断させていただきます。

### 平成30年度の郷土・資料調査室利用実績 (平成31年1月末現在)

- 入室者数：48,326名
- パソコンコーナー利用者数：9,157名 (内電子機器持込席 640名)
- レファレンス件数：カウンター 50件  
電話 55件  
文書 1件
- 特別貸出：42件 227点 (写真素材：120点、刊行物：22点、浮世絵：39点、絵はがき：46点、地図・その他：0点)
- 特別撮影：2件 3点
- 種別：映像・番組制作 17件、教育・学術研究 4件、出版 2件、その他 21件
- 主な資料提供先：たばこと塩の博物館、台東区公園課、台東区観光課ほか
- 主な提供資料：高相嘉男氏コレクション、絵はがき、浮世絵など
- 浅草文庫利用者数：1,141名



## ●平成31年度の企画展

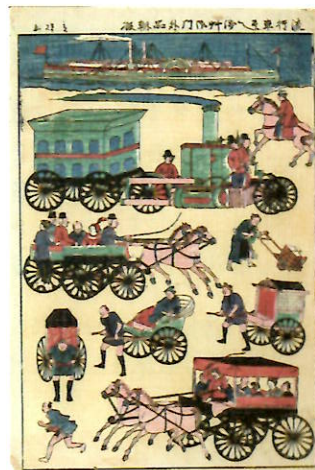
郷土・資料調査室では、平成31年度に下記の企画展を予定しています。詳細は『広報たいとう』、ホームページ、ポスター、チラシ等でご案内します。なお、企画展にあわせて講演会や展示解説も行いますので、ふるってご参加ください。

- 企画展 日記が語る台東区6 旅日記を読む**  
6月21日(金)～9月16日(月・祝)  
トーク・イベント 7月中旬開催(予定)  
ギャラリー・トーク、スライド・トーク開催(予定)
- 企画展 仲見世(仮)**  
9月20日(金)～12月15日(日)  
ギャラリー・トーク、スライド・トーク開催(予定)
- 企画展 吉原細見の世界II**  
12月20日(金)～平成32年3月15日(日)  
トーク・イベント 平成32年2月開催(予定)  
ギャラリー・トーク、スライド・トーク開催(予定)
- 企画展 台東区の橋(仮)**  
平成32年3月20日(金)～6月中旬  
ギャラリー・トーク、スライド・トーク開催(予定)

## 企画展 郷土・資料調査室ってどんなところ? III ~のりもの編~

平成31年3月23日(土)～6月16日(日)

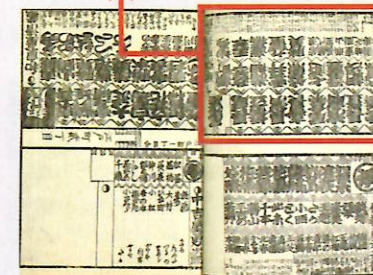
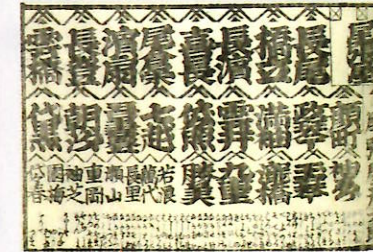
郷土・資料調査室では和本や浮世絵、絵はがきや定点写真など、貴重な資料を数多く収集・保管しています。本企画展では「のりもの」というテーマで台東区と関連する資料をご紹介します。5月にはトーク・イベント、4、6月にはギャラリー・トークも開催します。区の魅力を再発見していただければ幸いです。



▲「流行車尽し 浅州御門外」明治元年(1868) 歌川広重(三代)画

# 書庫を繙く

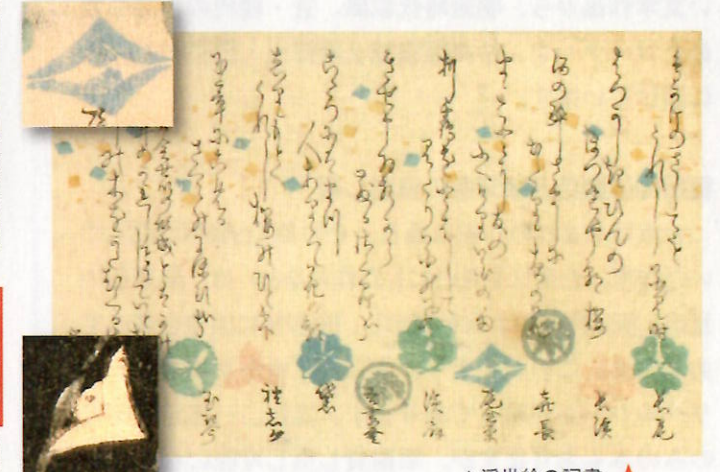
郷土・資料調査室の貴重資料を紹介するコーナー



▲[新吉原細見] 文久元年(1861) 初秋



▲下町風俗資料館展示 (平成26年)



▲浮世絵の詞書



▲二代歌川国貞画「新よし原尾州楼仮宅」文久元年(1861) 正月

平成26年(2014)夏、郷土・資料調査室では、企画展「吉原細見の世界」において吉原のガイドブック「吉原細見」を展示し、同じ時期に下町風俗資料館でも「三浦屋と『江戸風俗人形』」展が開催されました。図書館では、一般的に遊女の名寄りのイメージが強い「細見」を、地域資料の視点から紹介し好評を博しました。

吉原を題材にした資料は、細見のほかに浮世絵があります。浮世絵は、文字資料である細見では実感できない遊廓のイメージを私たちに伝えてくれます。例えば「新よし原尾州楼仮宅」では、中庭に見事な松や桜が植えられている点などの仮宅(吉原の火災時、一般人居住地に仮営業をした臨時的遊廓)の内部の様子や遊女の服飾などがわかります。画中詞書には、「長尾」「長浜」「喜長」「尾倉栄」「濱扇」「吾妻登」「黛」「袖しが」「玉琴」の9名の遊女による和歌が記されています。この浮世絵からは、文芸、服飾、建築、絵画という、様々な江戸文化が集約されていることに気がつきます。こうした夢のような世界から、ぐっと現実に戻るのが、細見の情報です。

浮世絵が描かれた半年後に発行された細見を見ると、尾

張屋彦太郎の遊廓には、和歌を詠んだ9名全員の名が記されています。このように、遊女名鑑である細見との照合によって、遊女らが実際に存在した裏付けができました。

さらに浮世絵を細かく読み解いていきましょう。和歌の文末には遊女の家紋がそれぞれ印刷されています。4番目の句「まことに友のふへ(増え)けり花の香」の末尾には、雁金二つを合わせた形の紋があります。目を転じて、画面右端の火鉢の前に座る花魁の着物の家紋にもまた同じ雁金紋が描かれています。つまり紋の一致によってこの花魁が、4番目の歌を詠んだ「尾倉栄」だとわかるのです。

こうした浮世絵と細見を見ていく企画展「吉原細見の世界II」を、今年12月20日(金)から来年3月15日(日)まで開催を予定しています。新しく収蔵した浮世絵と細見の情報を見比べて、より臨場感のある吉原の姿を浮き彫りにしていきたいと思ひます。



## 台東区立中央図書館 郷土・資料調査室

〒111-8621  
東京都台東区西浅草3-25-16  
TEL. 03-5246-5911  
<http://www.city.taito.lg.jp/index/library/index.html>



- 【開館時間】**  
月～土曜日 午前9時～午後8時  
日曜・祝日 午前9時～午後5時
- 【アクセス】**  
■つくばエクスプレス「浅草」駅 A2出口から徒歩8分  
■地下鉄日比谷線「入谷」駅 徒歩8分  
■北めぐりん・南めぐりん「生涯学習センター北」徒歩3分  
「生涯学習センター南」徒歩3分  
■都バス「入谷二丁目」停留所 徒歩3分



# 郷土・資料調査室紹介

## 【ゆかりの文学コーナー】

台東区は数多くの文学作品の舞台となりました。また、台東区に生まれ、台東区に暮らし執筆活動をした作家も多数輩出しました。そんな台東区にゆかりの深い文学作品から、明治時代以降、近・現代の作品を集めたコーナーを、中央図書館2階郷土・資料調査室内に設けています。

### ■目印は藤色と象牙色の見出し板

台東区生まれの作家は藤色、その他(台東区に住んでいた作家、台東区を舞台にした作品など)は、象牙色の見出し板に作家の名前を表示し、50音順に図書を並べてあります。このコーナーの本には「ゆかりの文学」のラベルシールが貼ってあります。また、一部館内閲覧のみの本もありますが、原則貸出し可能になっており、青い貸出用シールを日印に貼っています。



◀藤色と象牙色の見出し板



ゆかりの文学コーナーシールと貸出用シール▲

### ■台東区生まれの作家たち

台東区生まれの作家一覧をコーナー壁面に掲示してあります。その一部をご紹介します。

永 六輔 (浅草永住町)	放送作家・随筆家
円地 文子 (浅草区向柳原町)	小説家・劇作家
大沼 枕山 (下谷御徒町)	漢詩人
川口松太郎 (浅草区今戸)	小説家・劇作家
久保田万太郎 (浅草区田原町)	小説家・俳人
幸田 露伴 (下谷三枚橋横町)	小説家・随筆家
小島政二郎 (下谷区下谷町)	小説家
沢村 貞子 (浅草区猿若町)	俳優・随筆家
芝木 好子 (台東区浅草)	小説家

※( )内は出生地

### ■台東区ゆかりの作品たち

また、台東区は数多くの作品にも登場します。

「五重塔」	幸田 露伴 (谷中)
「下谷生れ」	小島政二郎 (上野ほか)
「如何なる星の下に」	高見 順 (浅草)
「下谷叢話」	永井 荷風 (御徒町)
「たけくらべ」	樋口 一葉 (千束)
「雁」	森 鷗外 (上野池之端)

ゆかりの作家の全集も取り揃えています。



◀円朝全集 三遊亭円朝著 (岩波書店)



樋口一葉全集 樋口一葉著 (新世社)

### ■貴重な初版本も

カウンター横のガラス戸の棚の中には貴重な初版本もあります。装丁の凝っているもの、挿絵の美しいものなど、ご覧になる際はカウンターでお申し付けください。



これまでこれらの作家から、小島政二郎、幸田露伴、久保田万太郎、樋口一葉、大沼枕山、永井荷風などを企画展でご紹介しました。

ゆかりの文学コーナーには約2,500冊の図書を用意しております。どうぞ足をお運びください。

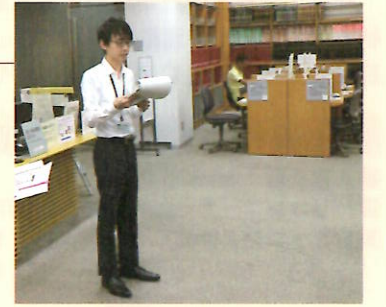
# 平成30年度の企画展

## 郷土・資料調査室ってどんなところ？Ⅱ

3月16日(金)～6月17日(日)

### ◆図書館員によるギャラリー・トーク

- 5月27日(日)
- 参加者数：8名



## 日記が語る台東区5『藤岡屋日記』の世界—安政江戸大地震と幕末の台東区—

6月22日(金)～9月16日(日)

### ◆トーク・イベント『藤岡屋日記』の世界

- 7月8日(日)
- 講師：①『藤岡屋日記』にみる台東区 平野 恵 (当館郷土・資料調査室専門員)
- ②『藤岡屋日記』にみる江戸の明治維新 滝口 正哉 (成城大学講師)

●参加者数：67名



### ◆専門員によるギャラリー・トーク

- 8月12日(日)
- 参加者数：8名

### ◆専門員によるスライド・トーク

- 9月13日(木)
- 参加者数：14名

## 台東区の緑日—朝顔市・西の市・歳の市—

9月21日(金)～12月16日(日)

### ◆トーク・イベント『台東区の緑日』

- 11月25日(日)、12月18日(火)
- 講師：①「植木を商う緑日の歴史」平野 恵 (当館専門員)
- ②ブックトーク「緑日」 児玉ひろ美 (当館司書)

●参加者数：34名(2回合計)

### ◆専門員によるギャラリー・トーク

- 10月7日(日) ●参加者数：5名



## 幕末・明治の漢詩人 大沼枕山

12月21日(金)～平成31年3月17日(日)

### ◆トーク・イベント『幕末の漢詩人・大沼枕山の世界』

- 2月2日(土)
- 講師：①「漢詩人・大沼枕山と台東区」平野 恵 (当館専門員)
- ②「大沼枕山の旧蔵書—大沼枕山・鶴林関係資料、国会図書館寄贈の経緯」川本 勉 (国立国会図書館司書)
- ③「来簡にみる大沼枕山とその継嗣鶴林—国立国会図書館所蔵「大沼枕山・鶴林関係資料」をもとに—」大沼 宜規 (同館司書)

●参加者数：58名

### ◆専門員によるスライド・トーク

- 1月10日(木)
- 参加者数：13名

### ◆専門員によるギャラリー・トーク

- 2月24日(日)

